

注目点：パルスセキュアが提供する ゼロトラスト セキュアアクセス

モバイル、ネットワーク、クラウドに渡る管理
- 接続性、保護性、可視性、脅威への対応

Publication Date: 15 Feb 2019 | Product code: INT003-000324

Andrew Kellett



概要

パルスセキュアは情報セキュリティの専門企業であり、ヒト、デバイス、モノ、サービスに対して「ゼロトラストセキュアアクセス」を提供することにフォーカスしています。2014年ジュニパーネットワークスから独立して以来、同社は製品ラインナップの充実、機能性やユーザビリティの向上のために革新的な投資を行ってきました。

Pulse Secure Access Suite は、同社の基軸となる製品ラインです。幅広い業種やハイブリッド化が進むグローバル企業における IT アクセスセキュリティを実現しています。Pulse Secure Access Suite の価値は、モバイル、ネットワーク、マルチクラウド環境にわたる、保護された接続性、オペレーションにおけるインテリジェンス、脅威への対応を可能にすることです。管理者には容易性、利用者には透明性を提供することに焦点を当てています。

重要なメッセージ

- パルスセキュアは、顧客の環境がオンプレミスか、パブリック、プライベート、SaaS といったクラウド活用かを問わず、マルチクラウドへの対応、あらゆる角度からのユーザーとエンドポイントの可視化、アプリケーションと情報への保護されたアクセス、きめ細かなセキュリティ制御、高可用性を提供します。
- デュアルモードのセキュアアクセス機能は、ペリメーターベースの VPN、SDP アーキテクチャの双方を統合して提供します。エコシステムパートナーとの連携により、柔軟なアクセスプロビジョニング、セキュリティ体制の保護、および総所有コストの削減を実現します。
- 複雑さが軽減されたセキュアアクセスのオーケストレーションは、集中管理システム、統合アプライアンスプラットフォーム、幅広いエンドポイントクライアントの対応、標準化されたインフラストラクチャ、クラウド相互運用サービスによって実現されます。
- セキュアアクセスを断片的に実施した組織は、視認性、ユーザビリティ、ポリシー、実行、適用範囲におけるギャップなど、複数のアクセスセキュリティシステムの導入が、複雑さと制限をまねく可能性があります。パルスセキュアのような統合化されたアプローチが、このような問題に陥ることを回避するのに役立ちます。
- 大企業やサービスプロバイダー、中小企業のいずれにも対応する Pulse Secure Access Suite は、セキュアなモビリティ、エンドポイントの可視化とコンプライアンス、シングルサインオン、マルチクラウド環境のアクセス保護、自動ワークロードバランス、IoT セキュリティを提供します。
- たゆまぬ技術への投資と開発により、パルスセキュアは本来のリモートアクセス SSL VPN の領域をはるかに超え、エンタープライズレベルのセキュアアクセスプラットフォームとして提供されるようになりました。

企業向けの推薦事項

なぜ、Pulse Secure Access Suite が注目されているのか？

Pulse Secure Access Suite が、ゼロトラストセキュアアクセスによる恩恵をユーザーにもたらしめます。利用者に簡単で安全なアクセスを提供するだけでなく、管理者にとって必要な可視化、柔軟な制御、脅威対策を提供します。IT セキュリティ管理者は、オンプレミスやクラウドで提供されるアプリケーション、データ、サービスを利用するユーザーやデバイスのポリシーコンプライアンス対応に加えて、アクセス制御を集中管理します。配信は、ペリメーターベースの VPN と SDP アーキテクチャの両方をサポートします。

その他、Pulse Secure Access Suite を導入する上での重要な要因

- 拡大するさまざまなデバイス、アプリケーション、データの保護が求められるデジタルトランスフォーメーションの推進における課題と、従業員の生産性を向上させることに有効な、柔軟な働き方の導入
- モバイルアクセスの課題とデータプライバシーのリスクを併せ持つ、IT のコンシューマライゼーション化によって拡大するモバイルワークの需要
- 既存のデータセンターにあるリソースとアプリケーションを、プライベートクラウド、パブリッククラウド、SaaS に拡張するとともに、可視性、アクセス制御、セグメンテーションの課題に対処するために、IT アプリケーション配信の最適化を図る必要性
- アクセスを許可する前に、ユーザーとデバイスの認証を必ず実施するゼロトラストモードの導入と、SDP への拡張を想定した Web アプリケーションへのダイレクトアクセスの実現
- エンドポイントコンプライアンスの不備によって拡大するマルウェア、IoT セキュリティ、データプライバシーのリスク
- セキュリティ運用とユーザーの生産性を向上させるための、セキュアアクセス技術の融合。ファイアウォール、UTM、セキュアゲートウェイ、VPN、SDP、CASB、ADC、MDM などが対象

Pulse Secure Access Suite は、オープンで高い柔軟性と拡張性を持つ統合化ソリューションを提供することにより、これらの課題に対処します。

ハイライト

Pulse Secure Access Suite は、企業や組織の大小を問わず、重要な情報へのアクセスをさまざまな脅威からしっかり保護します。許可されたユーザー、デバイス、システムによる、あらゆる企業リソース、アプリケーションもしくは第三者によるサービスへのアクセスに対し、ゼロトラスト、ポリシーベースのセキュアアクセスを提供する、包括的な統合プラットフォームです。

いくつかの企業は、従来型のペリメーターベースによる制御を補完するものとして、クラウドベースのアプリケーションや自社のクラウド環境用に、SDP を試験的あるいは選択的に実装していますこれは SSL VPN の使用を否定するものではありませんが、2つの異なるシステムを管理することが求められます。ペリメーターベースの VPN と SDP の両方を1つのプラットフォームとして提供することで、運用、セキュリティ、コスト効率をさらに向上させることにつながります。

Pulse Secure Access Suite は、以下の機能を提供します。

- ・保護されたリモート、オンプレミス、モバイル、クラウドセキュリティのための次世代 SSL VPN および SDP
- ・認証ならびにシングルサインオン
- ・エンドポイントの可視化とコンプライアンス
- ・ネットワークプロファイリングとネットワークアクセスコントロール (NAC)
- ・仮想アプリケーションデリバリーコントローラ (vADC)

このプラットフォームの構成要素となる製品には、Pulse Connect Secure、Pulse SDP、Pulse Workspace、Pulse Profiler、Pulse Policy Secure、仮想アプリケーションデリバリーコントローラである Pulse Secure vADC が含まれます。Pulse SDP は、Pulse Secure Access Suite の Advanced edition、Enterprise edition の一部としてのみ利用可能です。これらのコンポーネントは、Pulse ユニファイドクライアント、Pulse ユニファイドアプライアンス、および Pulse One Manager によって構成され、単一の可視性、ポリシー、アプライアンス管理を補完するものです。これらの製品は、クラウドサービスプロバイダーを通じて、サービスとして提供されているケースもあります。

製品ポートフォリオは以下の表で詳しく解説しています。

表 1: Pulse Secure Access Suite

製品ポートフォリオ	解説
<p>Pulse Secure Access Suite 中小企業、大企業向けに、必要な機能を提供する統合パッケージ製品。Essentials、Advanced、Enterprise edition のいずれかを選択</p>	<p>Essentials edition は、SSL VPN、ネイティブモバイル VPN、モバイルデバイス管理（MDM）コンテナ、集中管理、クラウドの可視化を提供</p> <p>Advanced Edition は、Essentials の機能に加え、ネットワークプロファイリング、シングルサインオン、クラウドベースの管理を追加。Enterprise Edition は、Advanced の機能に NAC を追加</p> <p>Advanced と Enterprise は、SDP アクセスセキュリティ機能をオプションとして提供</p>
<p>Pulse Connect Secure 機能豊富な SSL VPN および SDP ゲートウェイのソリューションで、使用するデバイスに依存することなく、クラウドやデータセンターなど、あらゆる企業リソースにあるアプリケーションへの安全な接続を提供</p>	<p>強力な認証、ホストチェック、詳細なポリシー、仮想デスクトップとブラウザへのアクセス、MDM との統合</p> <p>Pulse クライアント（エージェントとエージェントレス）はユーザーとデバイスの認証、セキュリティ状態を検証し、VPN と SDP 機能をサポート</p> <p>多要素認証や証明書認証、シングルサインオン、SAML 機能を使用して、常時オン、オンデマンド、アプリケーション起動時の VPN トンネリングおよび SDP ゲートウェイ機能をサポート</p> <p>クラウドセキュリティ機能により、Office365 や Salesforce.com といった SaaS アプリケーションへのシームレスでコンプライアンスに対応したアクセスを実現</p>
<p>Pulse Workspace モバイルアプリケーションとデバイス管理機能の提供を通じて、ビジネス、プライベートを問わず、すべてのユーザーのデバイスに対して、企業および第三者のアプリケーションとデータを安全に配信</p>	<p>モバイル VPN 機能は、既存の MDM ソリューションと連携モバイルコンテナは、アプリケーションとデータを個人用と業務用に論理的に分離し、ユーザー体験を損なうことなく、セキュリティと個人用デバイスのプライバシーを保護</p> <p>Pulse Workspace は、展開に要する IT 管理コストを削減するとともに、GDPR が求めるデータとプライバシーの保護をサポート</p>

<p>Pulse Policy Secure NAC 3.0 技術により、ユーザーとデバイスが企業ネットワークに接続する際、必要とされる「誰が、いつ、どこから、どのデバイスで、どのように」接続したかを可視化し、ポリシーに基づいた制御を行い、ユーザーとデバイスの安全なアクセスを実現</p>	<p>NAC 機能に含まれるものは、エージェントとエージェントレスのエンドポイントの可視化、ゲスト管理、BYOD オンボーディング、詳細なコンプライアンスポリシー、ログとレポート管理、マイグレーション機能（802.1X ポートレベル、L2-L4 施行など）</p> <p>ベンダーに依存しない機能として、一般的なネットワークおよびワイヤレススイッチ、次世代ファイアウォール（NGFW）、セキュリティ情報とイベント管理（SIEM）システム、エンタープライズモビリティ管理（EMM）ツールとの相互運用性を提供</p> <p>エンドポイントトラッキングのホストチェック、異常検出、自動およびユーザーの操作による修復、ネットワークの隔離とブロック、IoT デバイスの分類など、さまざまな機能を使用し、ユーザー固有の要件を満たしたポリシーの作成が可能</p>
<p>Pulse Profiler 企業ネットワークに接続されているエンドポイントの検出、分類、デバイスの監視をサポートするネットワークプロファイリング製品。スタンドアロンとして、あるいは Pulse Policy Secure（NAC）の一部として購入</p>	<p>Pulse Profiler はユーザー、エンドポイント、IoT の包括的な可視化、インベントリー、ふるまいのモニタリングを提供。同様に、ポリシーに基づいた問題や脅威への対応とコンプライアンスレポートも提供</p> <p>内蔵の RADIUS サーバー機能を利用し、分散ネットワーク全体に実装</p> <p>T リモートユーザーとデバイスの可視化を実現するには、Pulse Connect Secure（VPN）に組み込まれている Collector 技術(オプション)が必要</p>
<p>Pulse Secure vADC アプリケーションをより速く、より確実に、より安全に実行するために設計された仮想アプリケーションデリバリーコントローラ。ハードウェアベースのロードバランサが持つ制約からアプリケーションを解放、大規模な展開も可能なソフトウェア ADC</p>	<p>Pulse Secure vADC は、データセンターや Amazon AWS、Microsoft Azure、Google Cloud などのマルチクラウド環境でのアプリケーション配信に対し、高いパフォーマンスと可用性を提供</p> <p>Pulse Virtual Traffic Manager（VTM）による Optimal Gateway Selector 技術により、地理的に最も近いゲートウェイへのリアルタイムルーティングを実現</p> <p>vADC が提供する機能として、Pulse Virtual Traffic Manager（VTM）、Pulse Services Director、Web アプリケーションファイアウォールが含まれる。アプリケーションのロードインテリジェンスとリソース使用状況の分析により、サービスの最適化とトラブルシューティングを迅速化</p>

<p>Pulse One Manager 複数のパルスセキュア製品を運用環境全体で管理するための単一の集中型コンソール。データセンターやクラウドベースのシステムへのアクセスを制御するため、エンドツーエンドのユーザーおよびデバイスの可視化を提供</p>	<p>Pulse One は、Pulse Secure システムの導入と保守、マルチレベルのポリシー管理、統合化されたインテリジェンスとオーケストレーションの実現に必要な管理コンポーネントと連携 SDP モードでは、ユーザーとデバイスの認証およびセキュリティ状態の検証、権限やリソースへのアクセスポリシーやステートフルアクセス要求の管理、SDP 対応クライアントと SDP 対応ゲートウェイ間のアクセス保護を認証するための SDP コントローラとして機能 オンプレミスアプライアンス、仮想アプライアンス、あるいは SaaS として展開可能</p>
--	---

Source: Pulse Secure

パルスセキュアの沿革

パルスセキュアは、カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、ヨーロッパとアジアにオフィスを構えています。2014年にジュニパーネットワークスのテクノロジーを持ち独立した企業で、セキュアアクセスに関連する技術は2004年までさかのぼることができます。その革新的で高度な遺産を引き継ぎながら、モバイルワークやクラウドへの対応を進め、新たな会社としての強力な基盤を築いています。同社は、セキュリティ業界のベテランであるCEOのSudhakar Ramakrishnaによって率いられています。Ramakrishnaはこれまで、CitrixのEnterprise and Service Provider Divisionのシニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャ、Polycom、Motorola、3Com、US Roboticsで管理職を歴任してきました。

2014年の創立以来、2014年にMobileSpacesを、2017年7月にBrocade CommunicationsからvADC事業を技術買収するなど、パルスセキュアの事業基盤のさらなる強化のために投資を続けています。

現在のパルスセキュア

パルスセキュアはグローバル企業として、全世界でサポート、セールス、研究開発に携わる750名を超える従業員と3,000社を超えるパートナー企業を擁しています。1,800万を超えるエンドポイントのセキュリティを確実にし、Fortune 500の80%を含んださまざまな業種で2万社以上の顧客を有しています。中小企業、大企業、グローバル企業を問わず、統合化されたセキュリティ製品およびスイート製品の販売と優れたサポートを提供してきました。

今日のビジネスは、デジタルトランスフォーメーションの実現という困難な課題に直面しています。その目的を達成するためには、柔軟な働き方とはるかに優れた情報へのアクセス手法が必要となります。同時に、モバイルワークの導入、ITのコンシューマ化、クラウドへの移行、プライバシーコンプ

ライアンスへの対応といった、多くの課題を解決するための安全なアクセスの提供が求められます。Pulse Secure Access Suite のようなエンタープライズセキュアアクセス製品が必要とされるのは、このようなビジネスおよび運用上の要件があるからです。

パルスセキュアは、リモート、クラウド、ネットワークアクセス制御で培ってきた経験と実績を踏まえ、革新と買収を通じて製品とサービスのポートフォリオの強化を進めます。

スセキュアは、自社のセキュリティ製品とサービスに対するこれからのビジネスについて、明るい見通しを持っています。年間売上高は2桁成長を続けています。あらゆる分野で、オンプレミスとクラウドのハイブリッド環境におけるビジネス要求が顕在化していること、進化を続けるマルウェアとIoTの脅威が増大し続けていることにより、それらに対応するテクノロジーへの需要が高まっています。同様に、企業や組織が、より厳格なデータプライバシーや保護義務の必要性を感じ、新しい柔軟なワークスタイルを採用するにつれ、パルスセキュアもまたさらなるレベルアップに取り組んでいます。

データシート

表 2: データシート: パルスセキュア

Product name	Pulse Secure Access Suite, Pulse Connect Secure, Pulse SDP, Pulse Workspace, Pulse Policy Secure, Pulse Profiler, Pulse vADC, Pulse One Manager	Product classification	Enterprise secure access
Version number	9.0 rev.3	Release date	October 2018
Industries covered	All	Geographies covered	All
Relevant company sizes	Small, midsize, and large	Licensing options	Perpetual, subscription, named user, and concurrent user
URL	www.pulsesecure.net	Routes to market	Channel distribution
Company headquarters	San Jose, California, US	Number of employees	750

Source: Ovum

